

＜神奈川県自然保護協会 設立 60 周年記念シンポジウム 2＞

# 神奈川の自然を育てる 一里山・里地・里川の再生と生物多様性一

会場：県立神奈川近代文学館 ホール（横浜市中区山手町 110 港の見える丘公園内）

日時：2026 年 5 月 24 日(日) 14 時から 17 時 30 分

（13 時から 13 時 30 分まで、県協会総会を行っています但傍聴可能です）

## 開催の趣旨

- ・人の手が加わることで維持される半自然生態系の保全・再生の取り組みと課題、将来展望を里地、里山、里川の活動団体の実践に学び、深め、広め、神奈川の里の生態系の再生活動に生かす。
- ・県内各地の暮らしの近くにある自然の豊かさと大切さを多くの人に知ってもらう機会とする。
- ・併せて、県内の自然保護団体の相互交流・情報交換の場とし、今後のネットワーク化につなげる。

## プログラム

### ＜基調講演＞

止水性の水生生物からみた神奈川の生物多様性

東海大学教養学部

北野 忠

＜10 分休憩＞

### ＜実践報告＞

丹沢山麓・名古屋の棚田再生とネイチャーポジティブ

NPO 法人自然塾丹沢ドン会

佐藤英雄

じみ～な～淡水魚復元のために

かながわ淡水魚復元研究会

勝呂尚之

開発計画阻止から里山再生へ

認定 NPO 法人ホテルのふるさと瀬上沢基金

角田東一

円覚寺裏山・六国見山の里山再生活動

北鎌倉湧水ネットワーク

野口 稔

＜10 分休憩＞

### ＜パネルディスカッション＞

進行 片桐 務

（神奈川県自然保護協会副理事長）

神奈川の自然・生物多様性を育てる

・パネリスト：実践報告の 4 名＋北野教授

## 登壇者プロフィール



（きたの ただし）東海大学教養学部人間環境教授。博士（水産学）。水生生物の生息状況や生活史を調べるとともに、希少種に対しては保全活動を学生とともに実践している。著書に『日本の水生昆虫』（文一総合出版）、監修に『ゲンゴロウ・ガムシ・ミズスマシハンドブック』（文一総合出版）など



（さとう ひでお）NPO 法人自然塾丹沢ドン会専務理事。東京都江東区在住。2019 年より丹沢ドン会で活動。電機メーカー勤務の傍ら毎週秦野の棚田に通い会員と手作業での米作りや里山管理を楽しみ、希少な生き物を含む里山風景を次世代へ引き継ぐ使命に燃えている



（すぐろ なおゆき）かながわ淡水魚復元研究会会長・NPO 法人神奈川県自然保護協会理事・農学博士。元県水産技術センター専門研究員、淡水魚の保全研究や市民団体の指導に携わってきた。退職後も、ホトケドジョウ、ミナメダカ、丹沢ヤマメ等の絶滅危惧種の保全・復元に奔走中



（つのだ とういち）認定 NPO 法人ホテルのふるさと瀬上沢基金理事長。横浜市港南区在住。横浜市栄区上郷町出身で、子どものころは近所の野山が遊び場だった。仕事で一度は地元を離れるものの、帰郷後上郷瀬上沢地区の開発事業が浮上り、里山の全面保護に取り組む



（のぐち みのる）北鎌倉湧水ネットワーク代表、ジャーナリスト。1948 年千葉県生まれ。1972 年一橋大学経済学部卒、共同通信社に入社し経済部記者。2000 年に北鎌倉湧水ネットワーク設立。2004 年、建長寺で第 1 回団塊サミット主催。2011 年から里山再生活動開始

主催：NPO 法人神奈川県自然保護協会  
<http://www01.eco-kana.org>  
e-mail: nacs-kana-office01@eco-kana.org

丹沢山ろく名古屋の棚田と田植え風景

